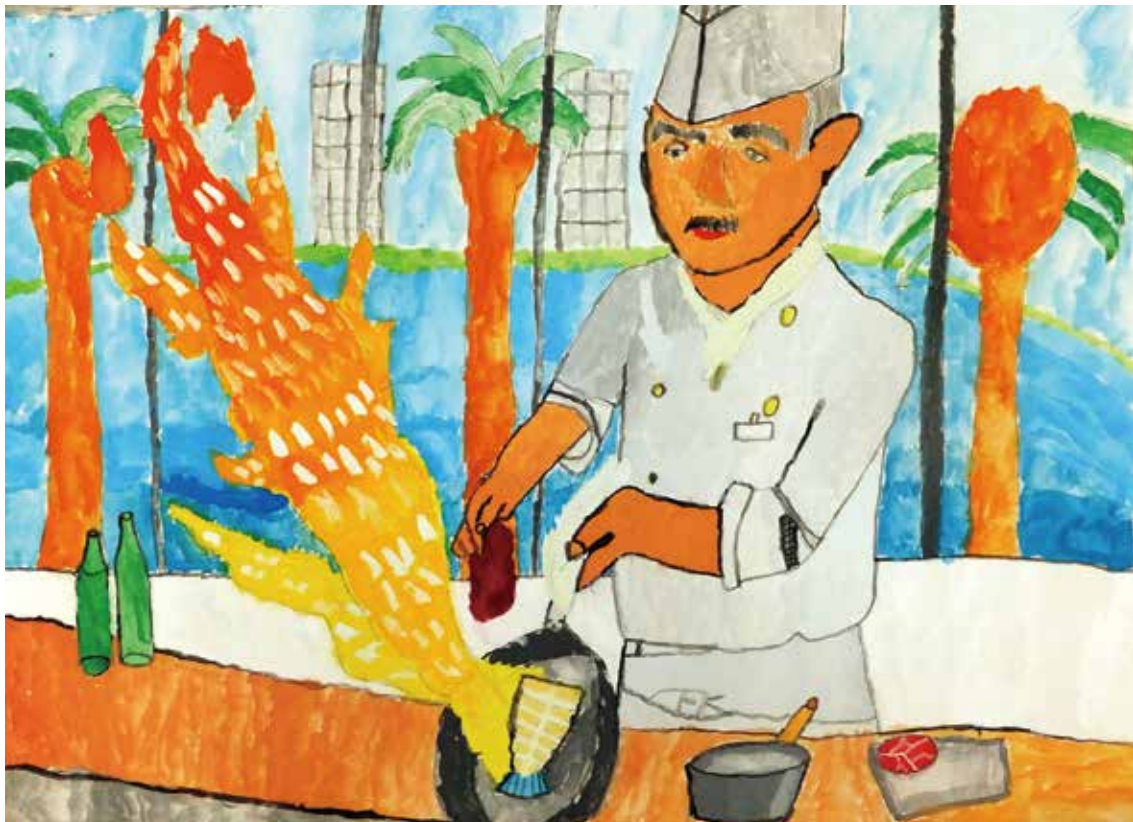


「バリア」の逆は「ありば」。
 バリアフリーな社会を築くために、本誌はバリア反対!の意を込めて、「ありば」というタイトルにしました。
 みんなに住みよいまちを、みんなで築くために。
 人と人のバリアフリーコミュニケーションをご紹介します広報誌、それが「ありば」です。

ありば

VOL. 33
2017



表紙／「将来の自分コック」 安田岳央(やすだ たけお)さんの作品

鹿児島県立南薩養護学校・高等部に通う安田さん(17歳)。30年後の自分をイメージし、南国のリゾートホテルで働く将来の姿をポスターカラーで描いた。こだわったのは躍動感あふれる炎の表現。腕をふるうコックの真剣な眼差しと合わせて、「美味しさ」が伝わる作品。本作は『第35回肢体不自由児・者の美術展』において「厚生労働大臣賞」を受賞。



CONTENTS

【特集】
聴覚に障害のある人との
コミュニケーション方法をご存じですか?
 PAGE 1

ありばヒューマンドキュメント
 岩崎 義治さん
 PAGE 3

ありば通心
 精神保健福祉ボランティアサークル
 ゆめの実
 PAGE 4

ハードルを越えて
 尾塚 愛実さん
 PAGE 5

バリアフリー最前線
 かんまちあ
心の輪を広げる障害者理解促進事業
 PAGE 6

鹿児島県からのお知らせ

- ・ 毎年4月2日は「世界自閉症啓発デー」、4月2日～8日は「発達障害啓発週間」です
- ・ 障害者虐待防止について

